

第 63 回夏季講習会報告

(2018 年 8 月発信)

この度の豪雨災害にて被災された皆様方に謹んでお見舞いを申し上げます。また、1 日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、広島支部では、第 63 回リトミック音楽教育講習会を 7 月 30 日（月）（JMS アステールプラザ多目的スタジオ）を実施しました。広島各地はもとより、鳥取県の方からも多数ご参加いただき、計 60 名の参加がありました。

講師は、午前の部は石井亨先生（国立音楽大学名誉教授、全日本リトミック音楽教育研究会会長、本部指導講師、リトミック音楽教育研究所所長）でした。



内容は、石井先生による「子どもの表現活動へのアプローチ」の講義と「楽しいリズム表現」の実技でした。

音楽を表現するためには、心と体を一致させ、強弱・速さ・テンポ・拍子などを意識することが重要だと学びました。

そのことを踏まえ、実技では、機関車・電車・新幹線のエネルギーの違いから、アンデンテ・モデラート・アレグロで歌ったり、歩

き方を元気に・静かになど強弱を意識して表現したりしました。音の強弱や高低からエネルギーの違いを感じ、イメージを膨らませながら表現することを楽しみました。



午後の部は坂本真理子先生（国立音楽大学教育音楽学科（リトミック）卒業、全日本リトミック音楽教育研究会常任理事、リトミック音楽教室「子どもの庭」主宰。NHK文化センター「教師のためのリトミック」講座講師、長野市芸術館「リトミック講座講師」）でした。



午後からは、坂本先生による、子どもと一緒に楽しむリズムの講習でした。坂本先生の声かけやテンポの良さ、そして何かが始まりそうな雰囲気です。自然とリズムカルに体が弾み、どんどんリズムの世界に入り込んで行くのが分かりました。改めて、雰囲気作りの大切さを感じました。



「つんこんぱっ」という絵本を用いての活動では、絵本の中のユニークな言葉と不思議な形からイメージを膨らませ表現を楽しみました。



「おねだり(ねえ かあさん)」という曲では、子ども役、お母さん役、お父さん役に分かれて歌いながら掛け合いを楽しみました。



今回の講習会では様々な実技があり、どれも二分音符、四分音符、八分音符など、速さのもつエネルギーの違いを感じ取りながら取り組むことができました。頭で考えて動くのではなく、音からイメージを膨らませると自然と音楽に合わせて体が動いていくことを体験することができました。

すぐ実践できそうな楽しいアイデアをたくさんいただき、今回もとても楽しく充実した講習会でした。

次回は、第2回支部例会です。9月23日（日）、講師は坂本真理子先生です。比治山大学短期大学部附属幼稚園で行います。多数のお越しをお待ちしております。